

## 印旛沼・手賀沼の水質状況

印旛沼及び手賀沼は、その水が農業用水として利用されるとともに、内水面漁業の漁場や市民の憩いの場となっています。さらに印旛沼の水は、県民の貴重な飲料水、工業用水などとしても利用されています。

昭和 30 年代以降、流域の都市化による生活排水等の流入により水質が悪化し、昭和 40 年代にはアオコの発生や水生植物の減少、印旛沼から取水した水道水の臭気などの問題が発生しました。

昭和 60 年 12 月に印旛沼、手賀沼が湖沼水質保全特別措置法に基づく指定湖沼に指定されたのを受け、昭和 61 年度以降 6 期にわたる湖沼水質保全計画により、下水道の整備、合併処理浄化槽の整備等の他、水質汚濁防止法に基づく上乘せ排水基準の適用等、様々な水質浄化対策を実施してきました。さらに、手賀沼では平成 12 年度から北千葉導水事業による浄化用水の導入が開始されました

その結果、化学的酸素要求量（COD）の年平均値は、印旛沼ではピーク時の 13mg/L に比べここ数年は 11~12mg/L 台で推移し、手賀沼ではピーク時の 28mg/L に比べここ数年は 7~8mg/L 台と大きく改善して推移しています。

しかしながら、COD の環境基準（印旛沼 3mg/L 以下。手賀沼 5 mg/L 以下。）達成には、より一層の水質改善が必要であることから、千葉県では引き続き総合的な水質保全対策の推進が図られています。

### 関連 URL

印旛沼に係る湖沼水質保全計画（第 6 期）／千葉県

<https://www.pref.chiba.lg.jp/suiho/6ki/inba/documents/inba.pdf>

手賀沼に係る湖沼水質保全計画（第 6 期）／千葉県

<https://www.pref.chiba.lg.jp/suiho/6ki/tega/documents/tega.pdf>